

改めてPFIの役割を考える

(青森市、平成18年11月14日)

中京大学教授
奥野信宏

新たな段階に入ったPFI

- 事業数の増加と多様化
- 新たな期待
 - ・ VFMが出にくいケースの増加
 - ・ サービスに対する要求の高まり
 - ・ 類似施設への波及効果
 - ・ 指定管理者制度等のバリエーション

なぜPFIによる整備か

- 「より良い公共サービス」「より低い住民負担」
- 必要な公共サービスの強化
 - ・ 高齢社会の基盤整備
 - ・ 産業の国際競争力
 - ・ 都市の魅力の向上
- 国土形成計画での位置づけ
- 事業手法の変革の可能性

自治体行政への効果

- 自治体による温度差
- 職員への教育効果
- 技能継承の問題

審査委員会での議論

- 実施方針、要求水準書の検討
- 審査日程
 - ・ 提案者の立場に立ったスケジュール
- 審査項目の設定

審査委員会での議論(2)

- 価格と内容への点数配分
- 価格・内容の点数の付け方
- 委員会としての決定ルール
- 提案内容の審査
- 講評の作成

審査で感じること

● 何を審査するか

- ・ 事業提案者が注意すべきこと
- ・ 価格で決まるケース、内容で決まるケース

● 提案者からのヒアリング

推進に向けて

- 大きい市場
- 自治体トップの理解
- 指名停止への対処
- 参加環境の改善
- 人材の育成
- 公共・民間の企画立案